

令和 6 年度 事業報告

当財団では、国際見本市会場「インテックス大阪」の管理・運営および誘致・利用促進活動、自主企画事業に努めたほか、在阪中小企業の国際ビジネス活動の支援や、国内外企業の大阪への誘致を推進するなど、関西経済の振興、発展、国際化に資する諸事業を実施してまいりました。

1 インテックス大阪の管理・運営

当財団は令和 3 年 10 月に、大阪市による公募プロポーザルにおいて令和 4 年度から 5 年間の「インテックス大阪」の事業運営者に選定されました。

令和 6 年度の施設管理・運営にあたっては、鹿島建物総合管理株式会社と共同企業体を組成し、施設・設備の機能向上、駐車場の確保や利用者への利便性の向上等のハードソフト両面において、一体的かつ柔軟に行ってまいりました。

また、国際的な見本市等の誘致・開催、運営能力・各種サービス提供の向上、見本市等（自主企画事業）の事業企画力や主催ノウハウ・商談活性化ノウハウの蓄積、効果的・効率的なマーケティング・広報活動、自主企画事業の出展者募集・バイヤー集客のための周知等を図ってまいりました。

加えて、提案型のきめ細かな営業活動を進めるとともに自主企画事業の開催と商談活性化を推し進め、多くの魅力ある見本市・展示会などを開催いたしました。

具体的には

- ① 施工時の『安全・安心』に対する啓発として継続している安全パトロールですが、令和 2 年度より施設主導から主催者主導へと移行し、主催者および施工者の更なる安全意識向上を図ることができました。また、展示会・イベントに携わる方々の安全管理意識の向上を目的として、8 月に『インテックス大阪 安全大会』を開催し、企画の一つとして大阪市消防署職員を招いて救命救急講習を行い、緊急時の対応強化に努めました。また、展示会の繁忙期となる 9 月を『安全推進月間』とさだめ、リボンの販売・安全啓発放送録音データの提供等を行い、さらなる安全への啓発を行いました。
- ② 屋上駐車場（900 台）、令和 4 年 8 月からコインパーキング化した中ふ頭駐車場（990 台）及び既存臨時駐車場（620 台）に加え、別途確保した臨時駐車場（400 台）を効率的に運営し、利用者の利便性の向上に努めました。

また、民間業者への土地賃貸借交渉を行い、更に駐車場用地を確保して交通渋滞の緩和を図ると共に、近隣施設の催事開催に応じて中ふ頭駐車場をフロア開放し、7～8 月で場内照明を LED 化することにより、周辺の渋滞防止と省電力化の両立にも努めました。

その他、周辺地権者との良好な関係を継続するため、臨時駐車場の雑草駆除や整地も積極的に取り組みました。

- ③ 大阪市協定工事として、特高受変電設備等改修工事、インテックス大阪 特定天井耐震改修工事（6号館A・B・1階ホール・3階ホール、アーケード2（3号館と4号館の間の通路）、中ふ頭駐車場天井照明LED化工事、1,2号館大屋根改修工事等を行いました。

また、安全面では、機械警備サーバーPC 更新工事、防火シャッターバッテリー交換工事等の設備改修を行いました。

その他、利便性の面では、6号館A・B・Cゾーンにおいて天井照明のLED化工事および、令和5年12月に閉店したレストラン跡の新店舗営業開始に向けての厨房内改修工事、空調熱源機器整備工事、センタービル1・2F客用WC改修工事、1号館・4号館床面アスファルト不陸改修工事等を行いました。

- ④ 住之江区役所より津波避難ビル用備蓄物資（9,652人分）を引き取って配備しました。
- ⑤ 主催者へのアンケート調査の実施や「ご意見QRコード」の掲示により、お客様のニーズを把握するとともに、インフォメーションセンターに寄せられる意見や問合せをサービス向上や事業運営に活かしてまいりました。
- ⑥ 来場者の利便性を考え、全展示館において設置した大阪フリーWi-Fiを継続して運用しました。
- ⑦ インターネットワンストップサービスにおいては、設営申込みが前年度と比較して3か月の休館により催事件数は56⇒52と減少しましたが、回線数は480⇒683と大きく増加しました。
- ⑧ 「大阪」の情報発信基地として、多様なサービスの提供に取り組み、観光・宿泊・交通・食事等、アフターコンベンションの情報提供等を行いました。
- ⑨ インテックス大阪周辺は学童の通学路に指定されており、近隣の小学校と連携を取り、来場者との干渉(中ふ頭駅前での滞留緩和・歩き煙草の副流煙問題等)を避けるよう、注意喚起を行いました。また、来場者動線（コスモスクエア駅、中ふ頭駅～西ゲート付近など）の衛生・美観が維持できるよう、都度、職員にて清掃活動を行いました。

2 誘致・利用促進活動

ビジネスショー(B to B)としては、「GX 経営 Week 関西」、「DX 総合 EXPO 2024 冬 大阪/ビジネスイノベーション Japan 2024 冬 大阪」、「Korea Expo Osaka 2025」等が新規開催され、通年開催の「ものづくりワールド [大阪]」「ビューティーワールドジャパン 大阪」に加え、2年振りに「JIAM(国際アパレル&ノンアパレル生産技術見本市)2024 大阪」が、4年振りに「2025 モバックスヨウ」が、8年ぶりに「2024 国

際ウエルディングショー」が開催されました。

一般ユーザー向けのイベント(B to C)としては、「大阪コミックコンベンション 2024」、「海外企業インセンティブ表彰式&パーティー」、「カードゲーム世界大会」、「建築関連企業 技能大会」、「フィッシングショー OSAKA 2025」、「第 28 回大阪オートメッセ 2025」等が開催されました。開催件数としては 204 件となり、特別高圧受変電設備の改修工事に伴う 3 か月の完全閉館期間にも関わらず、数多くのイベントが開催されました。

誘致・利用促進活動、情報提供・広報活動を積み重ね、見本市・展示会だけでなく、カンファレンス等の MICE 関連や各種資格試験・入学試験、就職支援イベント、物販会等の利用を促進し、数多くの催事開催見込みへと繋げました。

(1) 誘致・利用促進活動

各種見本市・展示会等がインテックス大阪で開催されるよう、首都圏・関西圏の業界団体や主催者・運営会社等に対して、直接訪問・メールやオンラインミーティング等を活用し継続的に誘致活動に努めた結果、新規案件 19 件の開催となりました。

- ① インテックス大阪で開催実績のある主催者・運営会社に対しては、アフターフォローをより一層積極的に行い、改善意見の収集・フィードバックなど、継続開催に向けた利用促進に努めた結果、185 件が継続開催となりました。
- ② 咲洲地区周辺施設(ATC ホール、グランドプリンスホテル大阪ベイ、ホテルフクラシア大阪ベイ)や大阪国際会議場(グランキューブ大阪)と共に大規模な国際会議・学会・海外インセンティブ等の主催者・運営会社等に対して、大阪観光局とも連携しながら、誘致活動を行いました。

また、咲洲地区周辺施設で構成する「大阪ベイエリア MICE」では、共同のホームページでの咲洲周辺地区の PR や 2025 年開催の「大阪・関西万博」に向けて、万博を契機とした MICE 案件の誘致促進を行いました。

- ③ 6 号館 C ゾーンに試験会場用備品を常設し、主催者の設営コストの削減を図るとともに、より柔軟な対応が可能となったことで、試験や企業ミーティング・講演会等の多目的利用に繋げることができました。
- ④ 首都圏・関西圏の主催者・運営会社等を対象に、利用促進活動の一環として、インテックス大阪交流会（情報交換会）を令和 6 年 10 月に大阪で、11 月に東京でそれぞれ開催しました。
- ⑤ 展示会産業に携わる関係者・施設間の交流を図る「日本展示会協会」や、全国 54 の公的展示施設が加盟する「全国展示場連絡協議会」、大阪観光局を中心として関西の MICE 関係者が集う「大阪 MICE ビジネスアライアンス」、大阪観光局とオール大阪の主力 MICE プレイヤーによる大規模 MICE の誘致活動組織である「大阪 MICE 誘致戦略委員会」、大阪の MICE 業界人材育成およびネット

ワーク作りである「大阪 MICE アカデミー」、全国のコンベンション関連業者の集まりである「日本コンベンション協会」、全国のビューロー関係者の集まりである「日本コンGRES・コンベンション・ビューロー」などに参加し、展示会・MICE ビジネス関係団体との交流を強化し、見本市・展示会を始めとする MICE 全般の最新情報を収集するとともに、需要の開拓・誘致活動に努めました。

(2) 情報提供・広報活動

見本市・展示会関連の主催者・運営会社はもちろんの事、大型セミナー・学会・レセプションといった MICE 関連の主催者・運営会社の情報検索・利便性向上と、来場者に対してイベント開催に関する情報を、迅速かつ正確に提供する事に努めました。

- ① 大阪ベイエリア連携会、コスモスクエア開発協議会、サキシマ Meets に参加し、情報交換を実施し、地域集客の推進などを通じて地域の活性化に努めました。
- ② ホームページやエリア情報誌である「ベイエリア NOW」、SNS(Facebook、X)、インテックスビジョン、デジタルサイネージ等でイベント情報を定期的に発信しました。
- ③ 大阪・関西万博を契機とした海外からの問合せに対応する為、ホームページにて英語案内の充実化を図りました。
- ④ ダイレクトメール(メルマガ)により施設改修等の情報を定期的に発信し、主催者・運営会社との情報共有を図りました。
- ⑤ 施設内にある広告看板スペースの利用促進を図り、賑わいを演出すると共に広告収入の改善を図りました。

3 自主企画事業

財団の自主/共催企画事業の開催や商談の活性化に努め、以下の事業を行いました。

- ① 5 月に「関西ロボットワールド 2024」(第 8 回 サービスロボット展、第 7 回 産業用ロボット展、第 4 回 次世代モビリティ展)を共同開催し、53 の企業・団体が出展、15,596 人が来場しました。
- ② 5 月に「防犯防災総合展 2024」を共同開催し、107 の企業・団体が 165 小間で出展、12,313 人が来場しました。
- ③ 7 月に「第 9 回関西教育 I C T 展」を ATC ホールにて共同開催し、117 の企業・団体が 166 小間で出展、6,888 人が来場しました。
- ④ 9 月に「2024 浙江省輸出商品(大阪)交易会」並びに「2024 大阪国際ライフスタイルショー」を開催し、220 の企業が 290 小間で出展、4,567 人が来場しました。会場では出展商品の特長や魅力を紹介する「ファッションショー」を開催したほか、例年実施している会場内無料通訳の提供によるビジネスマッチングや

中国ビジネスに精通した専門家による特別セミナーを連日開催しました。

- ⑤ 10 月には国内唯一の MICE 総合展「Japan MICE EXPO 2024」を開催し、128 の企業・団体が 133 小間で出展、2,810 人が来場しました。会場では、ホステッドバイヤーとして招聘した国内外のバイヤーと出展者によるピッチや商談を行ったほか、希望する海外バイヤーを対象に会期前後で FAM トリップを企画し、新たなビジネス機会の創出を図りました。さらに、MICE 分野の専門家によるセミナーや、出展者・関係者が一堂に会する交流会、MICE に関心を持つ学生による出展ブースの見学・体験ツアー等も実施し、業界内のネットワーク構築を促進しました。
- ⑥ 商談の活性化については、上記主催事業の出展者・来場者双方に財団職員より直接積極的に働きかけるなどして推進しました。

「2024 浙江省輸出商品（大阪）交易会」並びに「2024 大阪国際ライフスタイルショー」では、来場者の都合に合わせて無料通訳者を調整・提供し、921 件の通訳付き商談を創出しました。また、「Japan MICE EXPO 2024」では、海外・国内のホステッドバイヤーと出展者の間で、492 件（海外バイヤー298 件、国内バイヤー194 件）の商談を創出しました。

4 国際部事業

国内外企業等の大阪市への誘致活動と立地支援、アジア・太平洋地域およびヨーロッパの主要 15 都市が加盟するビジネスパートナー都市提携（BPC）等の海外ネットワークや大阪市海外事務所を通じて、在阪中小企業の国際ビジネス活動の支援や経済交流の促進に取り組みました。

A. 企業誘致推進事業

(1) 情報発信・広報事業

- ① 大阪市の総合企業誘致・立地支援サイト「INVEST OSAKA」の管理運営及び掲載情報の更新
- ・大阪市の投資環境や都市開発に関する情報
 - ・大阪市進出の流れ（会社設立等）、進出サポート内容やインセンティブ等の情報
 - ・企業誘致関連のイベント等新着ビジネス情報
 - ・「大阪の経済 2024 年版」の経済関連データ
- 「INVEST OSAKA」ウェブサイトのトップページへのアクセス件数：
- 日本語版 17,712 件 英語版 2,263 件 中国語版 1,776 件
- ② 広報媒体となるパンフレットの企画・作成・活用
- ・冊子「INVEST OSAKA」発行部数：

日本語版 1,200 部 英語版 1,300 部 中国語版 1,000 部

③ 進出企業の紹介記事・動画の作成

- ・紹介記事の作成と掲載社数：6 社（日本語 6 社、英語 3 社）
- ・インタビュー動画の作成と掲載社数：3 社（英語 2 社（日本語・中国語字幕）、日本語 1 社（英語・中国語字幕））

④ メルマガ、SNS による情報発信

- ・INVEST OSAKA メルマガ（日本語） 配信回数：13 回
- ・INVEST OSAKA Newsletter（英語） 配信回数：5 回
- ・IBPC 大阪メルマガ 配信回数：18 回
- ・LinkedIn（英語） 配信回数：89 回
- ・Facebook 配信回数：3 回

(2) 進出有望企業等情報収集・アプローチ事業

<大阪市進出有望企業との面談件数：32 件>

① シティプロモーションの実施

開催名称：大阪立地プロモーションセミナー2024

～万博を契機とした産業構造・社会構造の変革～

開催日：2024 年 10 月 24 日（木）

開催場所：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

内容構成：第 1 部 講演／ダイアログ／大阪市からのご案内

第 2 部 交流会

- ・当日参加者数：48 名
- ・フォロー対象企業数：26 社

② 展示会・イベントへの出展

展示会名称：第 23 回 SMART ENERGY WEEK 【春】

開催期間：2025 年 2 月 19 日（水）～21 日（金）

開催場所：東京国際展示場（東京ビックサイト）

出展社アプローチ数：52 社

- ・ブース出展／出展展示会における投資促進セミナー実施

③ 海外からの企業団招致

4 月 17 日 インド JBN 企業団 58 社

7 月 2 日、3 日 台湾スタートアップ企業団 30 社

9 月 27 日 コートジボワール政府・企業団 8 名

12 月 9 日 ドイツスタートアップ企業団 7 社

④ その他海外企業等向けの情報収集・アプローチ

5 月 23 日 台湾 Startup Island Taiwan 日本ツアー参加企業

6月18日、19日 インド・ベンガルール企業・団体
6月22日 ドイツ・ハンブルクにて開催された Japan Festival
8月30日 中国広東省広州市で開催された万博 2025 イベント
9月2日 オーストラリア・ウェスタン・シドニー大学学生
10月31日 韓国釜山市東西大学校学生
11月20日 韓国電池関連企業
11月20日 ポーランド投資貿易庁オンラインセミナー
11月28日 Advantage Austria 招聘スタートアップ企業
12月～1月 OIH 主催 Osaka Springboard 参加企業

(3) 企業進出・定着支援事業

① 企業への各種サポートの実施

- ・問合せ・進出相談対応企業社数：40 社
- ・事業用物件の情報提供
 - <事業用物件の提供社数：35社>
 - <提供物件数：353件 物件視察数：18件>
 - <物件成約数：15件（住居物件10件含む）>
- ・「大阪市本社機能立地促進助成金」の情報提供 案内社数：8 社
- ・定着支援企業数：12 社（6 ヶ国・地域） 定着支援件数（延べ）：25 件

② 交流会の開催

開催名称：Osaka International Business Meetup
開催日：2024 年 11 月 26 日（火）
会場：コングレコンベンションセンター（Hack Osaka 2024 会場内）
・参加者数：90 名

③ ビジネスサポートオフィスの運営（個室 6 室、シェアオフィス 1 室）

<利用企業数：20 社（8 ヶ国・地域）>

B. 経済交流推進事業

(1) BPC 等における海外ビジネス促進事業 企業ミッション団派遣並びに海外商談会

① 中華人民共和国・上海市への企業ミッション団派遣

- ・実施時期：2024 年 12 月 4 日(水)～6 日(金)
- ・参加企業：6 社（7 名）

② 上海市でのビジネス商談会

- ・開催日：2024 年 12 月 5 日（木）
- ・開催場所：上海外灘郁錦香新亜酒店(Golden Tulip Bund New Asia)
- ・参加中国企業数：21 社

- ・商談件数：62 件

(2) BPC 等における海外ビジネス促進事業 見本市出展

- ① フード＆ホテル・アジア HoReCa 2024【シンガポール】
 - ・開催時期：2024 年 10 月 22 日（火）～25 日（金）
 - ・出展会場：Singapore Expo（シンガポールエキスポ）
 - ・支援企業：4 社
 - ・商談件数：298 件
 - ・商談品目：食品・飲料・外食・フードサービス・ホスピタリティ関連
- ② コスモプロフ・アジア香港 2024【香港】
 - ・開催時期：2024 年 11 月 13 日（水）～15 日（金）
 - ・出展会場：香港コンベンション&エキシビションセンター（HKCEC）
 - ・支援企業：3 社
 - ・商談件数：212 件
 - ・商談品目：化粧品・美容関連製品

(3) 大阪での BPC とのビジネス交流事業 商談会

- ① タイコスメ・美容製品商談会
 - ・開催日：2024 年 6 月 26 日（水）～27 日（木）
 - ・開催場所：マイドーム大阪 2F 展示ホール C
 - ・タイ企業：18 社／日本企業：35 社／商談件数：162 件
- ② アセアン・ヘルスケア製品バイヤーオンライン商談会
 - ・開催日：2024 年 9 月 13 日（金）
 - ・アセアン企業：3 社／日本企業：24 社／商談件数：29 件
- ③ マレーシアハラル食品商談会
 - ・開催日：2024 年 9 月 17 日（火）
 - ・開催場所：大阪産業創造館 5F 研修室 A・B
 - ・マレーシア企業：24 社／日本企業：18 社／商談件数：114 件
- ④ ベトナムものづくり商品商談会 2024
 - ・開催日：2024 年 9 月 30 日（月）
 - ・開催場所：大阪産業創造館 3F マーケットプラザ
 - ・ベトナム企業：25 社／日本企業：35 社／商談件数：101 件

(4) 大阪での BPC とのビジネス交流事業 セミナー

- ① 中国ヘルスケア・福祉ビジネスセミナー2024
 - ・開催日：2024 年 8 月 9 日（金）

- ・開催場所：大阪産業創造館 5階 研修室 A・B
- ・参加者：72名

C. 大阪ビジネスパートナー都市交流協議会（BPC 協議会）

(1) BPC ラウンドテーブル会議 2024 中華人民共和国・上海市での開催

- ・開催日：2024 年 12 月 5 日（木）
- ・開催場所：スーハーワンスペース 上海蘇河湾中心 42 階
- ・参加都市：香港、バンコク、クアラルンプール、マニラ、ジャカルタ、ホーチミン市、メルボルン、天津、ハンブルク、上海、大阪（11 都市）
- ・テーマ：ヘルスケアビジネスの促進に係る取り組み
- ・関連行事：
 - BPC ネットワーキング昼食会
 - 上海市内・文化歴史ツアー
 - BPC ネットワーキングレセプション
 - ヘルスケアビジネス施設ツアー

(2) BPC 人材研修事業

- ・実施期間：2025 年 2 月 26 日（水）～3 月 5 日（水）
- ・実施場所：大阪市内等
- ・参加機関：
 - ① タイ商工会議所・タイ投資委員会
 - ② マレーシア貿易開発公社
 - ③ 上海市商務委員会
 - ④ ホーチミン市人民委員会
 - ⑤ メルボルン市
 - ⑥ クアラルンプール市

(3) BPC 提携先機関とのネットワーク強化

① 海外ビジネス EXPO 2024 大阪出展と出展社セミナーの実施

- ・開催日：2024 年 6 月 12 日（水）
- ・会場：大阪マーチャンダイズ・マート（OMM）2 階展示ホール A
- ・ブース来訪者数：74 名
- ・セミナー開催：
 - テーマ：海外販路開拓に求められる視点・スキルとそこに潜むリスクへの対応
 - 参加者：104 名

② ドイツ・ハンブルク市ビジネスツアー

- ・実施期間：2024 年 6 月 22 日（土）～26 日（水）
 - ・参加企業：4 社
 - ・プログラム：現地企業・産業クラスター等への訪問、視察や現地企業との商談とネットワーキング等
- ③ タイペットフード&製品商談会
- ・開催日：2024 年 9 月 18 日（水）～19 日（木）
 - ・会場：大阪産業創造館 3 階 マーケットプラザ
 - ・タイ企業：13 社／日本企業：26 社／商談件数：71 件
 - ・商談品目：ペットフード、ペットウェア、玩具、衛生用品、消耗品等
- ④ マレーシアベンダーおよびハラル起業家市場開拓プログラムにおけるブリーフィング
- ・開催日：2024 年 9 月 17 日（火）
 - ・会場：大阪産業創造館 5 階 研修室 A
 - ・説明内容：大阪、関西へのビジネス環境、BPC 協議会の取組および支援施策について
 - ・マレーシア企業数：24 社
- ⑤ インド DX ビジネス活用セミナー
- ・開催日：2025 年 3 月 26 日（水）
 - ・会場：大阪産業創造館 6 階 会議室 E、D
 - ・参加者数：67 名

D. 大阪市上海事務所の運営を通じた交流事業

大阪の貿易振興と各種の交流促進を目的に設置されている大阪市上海事務所を運営するとともに、引合い斡旋業務や経済情報等の収集・提供、外国企業の誘致をはじめ各種交流を推進しました。

5 SDGs への取り組み

世界中で SDGs や持続可能な社会のあり方に関心が集まる中、MICE 業界においても、サステナビリティは近年ますます重要性を増しており、インテックス大阪において、SDGs への理解を深め、サステナブル MICE の推進が必要不可欠との考えから、2022 年度にプロジェクトチームを立上げ、議論を重ねて、「インテックス大阪 SDGs への取り組み」を取りまとめました。

2024 年度においては、次の取組みを行いました。

① 教育分野への ICT 活用支援

- ・ 7 月 25 日（木）・26 日（金）の日程で「第 9 回関西教育 ICT 展」を ATC ホールにて開催し、117 社・団体（166 小間）の出展、6,880 人の来場者を

迎えました。

② 施設省エネ、効率的なエネルギーの使用

- ・ 共用部・駐車場の照明やボイラー等機械設備の運用方法を見直し、エネルギー使用量の削減を実施しました。

③ 多様な働き方の推進

- ・ 時差勤務や勤務間インターバル、副業に加え、在宅勤務も制度化し、多様な働き方改革やライフワークバランスの充実に取り組んでいます。

④ 休暇制度の充実

- ・ 法定休暇はもとより特別休暇の項目や取得方法など制度の充実に努めています。

⑤ 安全大会&安全推進

- ・ 8月21日（水）に安全大会を開催し、来場者数 282 名を得ました。
- ・ 9月を「安全推進月間」と定め、「展示会の安全を守ろう」をテーマに安全意識の向上に取り組みました。
- ・ 主催者をサポートする形で年間 23 件の安全パトロールにテナント各社と同行しました。

⑥ 大型 MICE 誘致

- ・ 国内外の MICE 案件誘致のため、「MICE 案件に関する支援割引」を制度化しました。
- ・ 当年度 3 件(2025 年度案件)の大型 MICE の開催誘致に成功しました。

⑦ 国際会議の開催

- ・ 国際会議の誘致のため、関係各機関や海外主催者へのアプローチ、誘致活動を行いました。

⑧ BPC（ビジネスパートナー都市）交流活動

- ・ 中華人民共和国の上海市において BPC ラウンドテーブル会議が行われ、「ヘルスケアビジネスの促進に係る取り組み」をテーマとして 11 都市・機関が参加し活発な意見交換が行われました。

⑨ SDGs に取り組む企業のマッチング

- ・ インド、台湾、ドイツの様々な SDGs 項目の達成に取り組むスタートアップ企業団を受け入れオープンイノベーションや次世代のテクノロジーの取り込みを目指している日本企業とのマッチングを行い双方にメリットがある商談とネットワーキングが行われました。

⑩ 安全・安心に利用できる施設・サービスの提供

- ・ テレワークブース、モバイルバッテリーの貸し出しを継続して運用し来場者の柔軟な働き方に合わせた施設サービスを提供。

⑪ 国籍を問わない人材の採用

- ・ 中国、ベトナム、オランダ国籍の職員が基幹メンバーとして、様々な事業を担当し、海外からの企業誘致や在阪企業の海外展開支援を行いました。

⑫ 災害時対応

- ・ 津波避難ビルの指定を受けるとともに、通常分の備蓄品 3,800 名分に加えて、住之江区役所へ申請して 9,652 名分の備蓄品を配備しています。
- ・ また、大阪市と協定を締結し、災害時等には支援物資の集積配送拠点として施設を提供します。

⑬ 防災訓練の実施

- ・ 5 月 21 日(火)座学により津波の特性や避難について学び、12 月 3 日(火)に津波を想定した避難誘導に主眼を置いて消防訓練を実施。また、消防訓練後に防火防災管理委員会を開催して今後に向け改善点について検討しました。

⑭ 社外関連機関との連携、地域経済への貢献

- ・ MICE の総合国際展示会としてリニューアルした「Japan MICE EXPO 2024」を、大阪観光局、大阪国際会議場と共同開催する事をはじめ、浙江省展や国際部事業においては、大阪商工会議所や大阪産業局など関西の各経済団体より協力・後援を得て、各事業を実施しました。

⑮ ペーパーレス化

- ・ 職員の出退勤及び休暇等の申請や給与支給明細書、会議資料など IT を活用しペーパーレス化に取り組んでいます。

⑯ 地域清掃活動への参加

- ・ 9 月に地域清掃活動に参加し、大量のゴミを収集しました。

⑰ ペットボトルキャップ回収

- ・ 従来のペットボトル回収に加え、2024 年度からは敷地内 5 か所にキャップ専用の回収ボックスを設置し、関係機関を通じて開発途上国へワクチンを贈る活動への協力を始めました。

6 理事会及び評議員会

令和6年

5月28日 第1回理事会

議案 第1回臨時評議員会招集の決定

議案 評議員の選任

6月7日 第1回臨時評議員会

議案 評議員の選任

6月13日 第2回理事会

議案(1) 令和5年度事業報告及び決算の承認

(2) 理事の競業取引の承認

(3) 第2回定時評議員会の召集の決定

議案(1) 令和5年度事業報告及び決算の承認

(2) 理事の選任

(3) 役員等の報酬等及び費用に関する規程の改正

(4) 定款の変更

6月28日 第2回定時評議員会

議案(1) 令和5年度事業報告及び決算の承認

(2) 理事の選任

(3) 役員等の報酬等及び費用に関する規程の改正

(4) 定款の変更

7月1日 第3回理事会

議案(1) 理事長の選定

(2) 常勤役員報酬額改定の承認

(3) 理事の職務権限規程の改定

(4) 第3回臨時評議員会招集の決定

議案 評議員の選任

7月1日 第3回臨時評議員会

議案 評議員の選任

8月16日 第4回理事会

議案 第4回臨時評議員会招集の決定

議案 理事の選任

8月26日 第4回臨時評議員会

議案 理事の選任

令和7年

3月24日 第5回理事会

議案(1) 令和7年度事業計画及び収支予算の承認

(2) 常勤役員の臨時賞与額の決定